

JR美祿線利用促進啓発事業 絵画コンテスト作品募集

JR美祿線は、平成22年7月の豪雨災害により厚狭川に架かる鉄橋が流出するなど甚大な被害を受け、現在、全線で運休となっております。

平成22年11月から、JR美祿線の復旧工事が開始されていますが、JR美祿線はピーク時に1日1,200人あった利用者も、近年では約半数の600人まで減少しました。

そこで、沿線の長門市、美祿市、山陽小野田市では利用者数の低迷を打破すべく利用促進に向けた様々な事業計画を策定しています。

その一環としてJR美祿線の復旧後の利用促進を啓発するためのポスター・チラシの題材となる絵画を募集します。

テーマは「乗ろうよ!美祿線!」です。詳しい応募要領等は下記のとおりです。多くの人からのご応募をお待ちしております。

募集テーマ

募集テーマ「乗ろうよ!美祿線!」

生活・観光・貨物と様々なロケーションで利用されてきた美祿線。

そんな美祿線に多くの方が乗っていただけるようにという願いを込めたテーマです。

応募規定

- 画用紙サイズは、八つ切りサイズの画用紙に限ります。(約270mm×380mm)
- 画用紙のタテ・ヨコ使いは自由です。
- 使用する画材は自由です。
- 文字の記入はしないでください。
- ひとり何点でも応募できます。ただし、表彰作品は一人一点とします。
- 応募者本人による作品で、未発表のものに限ります。
- 年齢・性別は問いません。

応募方法

- 作品の裏面に、「住所」「氏名(ふりがな)」「年齢」「性別」「電話番号」「学校名・学年」又は「職業」を記入の上、提出してください。
 - 作品を折り曲げたり、丸めたりせず、平らな状態のまま厚紙などで補強してお送りください。
- ※応募の際の個人情報(絵画コンテストに関する目的以外)には使用しません。

募集期間

平成23年1月14日(金)まで (当日消印有効)

入賞作品の審査・発表

審査 平成23年2月 協議会において審査
発表 平成23年3月

賞 会長賞 1点 (賞状、副賞)
副会長賞 2点 (賞状、副賞)
入選 3点 (賞状、副賞)

作品の取扱い

入賞作品として選出された作品は JR 美祿線利用促進啓発用ポスター・チラシとして作成の上、啓発活動に使用します。

入賞した作品は三市庁舎内に展示します。
※入賞作品の著作権はJR美祿線利用促進協議会に帰属します。

作品展示期間終了後、4月中に作品を受け取りに来られた方には返却します。

応募・問合せ先

JR 美祿線利用促進協議会
【地域情報課(☎0837(52)1128・〒759-2212 山口県美祿市大嶺町東分 326 番地 1)】

俳句と短歌

【美祿つぼみ句会】

藁の香の刈田明かりとなりけり
間引菜の色をたのしむ朝餉かな

久保 悦子
中洲なるみ

【美祿あざぎり句会】

一せいに野に湧くごとし彼岸花
風の道真つ直ぐ通りにて敬老の日

中野 白堂
伊藤みよ子

【美東俳句会】

おさげ髪ペダルも軽き秋の道
肥後の守鉛筆削る夜長かな

河崎 敏昭
岩佐 晴子

【秋芳野火句会】

萩こぼる小石に躓くことしばし
秋の滝笈となりてリズムよく

阿野 泰子
上利 邦子

【ホトトギス秋芳句会】

鹿の鳴く哀れな声の山渡る
錆びつきし遊具に遊ぶ秋の風

柿村喜代美
秋枝美代子

【美祿短歌会】

短歌作りにいきづまりつつ朝の風
いさめるがごと木犀香る

内田シヅエ
村上 保

来る人も行く処もなく独りいて
夕餉の支度ぼちぼちはじむ
遠き国救出されし鋹夫らの
姿にありし神の存在

村上 保
長町 保枝

【秋芳短歌会】

簾動かし涼風の吹く秋されば人の
温もりひたに欲るなり

松原 正男

故郷への思ひを胸に綴りつつ
汝は東京の夏を逝きたり

長 安喜子

お神輿は車のうえに鎮座して
前田の側を行く祭りかな

前田 時博

まちかどホットライン



クラシックカーの祭典

クラシックカーの祭典が開催され、遠くは長野県、鹿児島県や神奈川県など県内外から24組の参加がありました。

1日目は、あいにくの天候でしたが設定したタイムを目指して走るタイムトライアルレースで、美祿市役所をスタートし、秋吉台カルストロード、萩、長門、下関の名所を巡るコースで開催されました。

2日目は、マツダ(株)美祿自動車試験

場において、コースを愛車で走る愛車壮行会が開催され、往年の名車が轟音をたてて走っていました。また、会場にはガレージセールのお店も出店され、愛好家達が、クラシックカーなどをカメラに収めていました。

10/9
10/10



美祿をぶち好きになってみーね フォーラム2010

10/9



(株)美祿青年会議所の主催で、「美祿をぶち好きになってみーねフォーラム2010」が来福センターで開催されました。

美祿青年会議所が独自に行った、2度の市民の皆さんのアンケート結果をもとに、医療・農林業・観光事業・市街地形成の4つの分野について、市内の有識者の方々と村田市長のディスカッションが行われました。

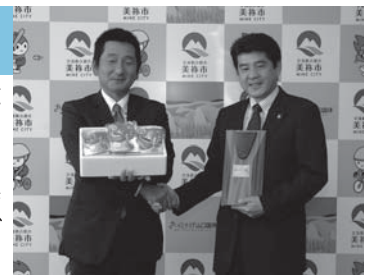
会場には多くの市民が訪れ、用意されていた赤と青のパネルで会場アンケートに答えていました。

10/15

平成22年度山口県特産品振興奨励賞受賞

(株)なかしんが製造する「はなえるコロッケ美東ごほうコロッケ」が平成22年度山口県特産品振興奨励賞受賞したことを報告するために、(株)なかしん代表取締役中島真哉さんが来庁されました。

この賞は、県内の資源や技術を生かした特産品の振興を図り、創意と工夫が認められる特産品に対し、山口県が昭和57年度から毎年度授与しています。中島さんは、「美祿市の農家が潤い、地域の活性化につながれば。」と会社設立から受賞までの経緯を述べられました。



男女共同参画講演会

10/17

10月の男女共同参画推進月間中に「美祿市男女共同参画学習会in美祿」が美祿市勤労青少年ホーム2階で行われ約50人が参加しました。

県母親クラブ連絡協議会顧問重田強子さんを迎えての講演会は、日常的な会話から男女共同参画を考える内容で、男女共同参画の必要性とあわせ男性・女性一人ひとりの人権について改めて考える学習会となりました。

10/19

山口ヤクルト販売株より 緑のカーテン普及資金の寄附

ヤクルトは今年で創業75周年を迎え、その記念事業「緑のカーテンの普及資金」として、売り上げの一部を県内各自治体へ寄附され、この度美祿市にも寄附いただきました。

ヤクルトは、人の健康に良いものをさまざま製造販売されていますが、人の住む地球の健康を取りもどすために活動されています。村田市長は「美祿市の緑のカーテン普及に役立てたい。」とお礼を述べました。

